

公益財団法人東京都福祉保健財団

令和7年度第1回定時理事会 議事録

- 1 日時 令和7年6月6日（金曜日）18時01分～19時21分
- 2 会場 公益財団法人東京都福祉保健財団 多目的室2
- 3 現在の理事数 11名（定足数7名）
- 4 出席理事 小室 一人（※）、浅野 直樹、矢沢 知子（※）、藤原 佳典（※）、
諏訪 さゆり（※）、柏女 霊峰、笹井 敬子、森川 美絵、
関口 由季子、田中 雅英、小池 朗（※）
出席監事 岩崎 雄大（※）、森田 能城
（※）会場出席者
欠席理事 小澤 温
- 5 審議事項
第1号議案 令和6年度事業報告及び決算について
第3号議案 令和7年度第1回定時評議員会の招集について
- 6 報告事項
報告事項1 職務執行状況について
報告事項2 評議員選定委員会の選任結果について
報告事項3 新公益法人制度について

7 出席状況及び議事録への記名・押印の確認

定刻となり、大場経営部長が開会に先立って、就任の挨拶を行った。続いて、大場経営部長から新たに理事に就任した藤原理事の紹介があり、藤原理事が就任の挨拶を行った。続いて、大場経営部長から新たに監事に就任した森田監事の紹介があり、森田監事が就任の挨拶を行った。続いて、小室理事長が挨拶を行った。続いて、大場経営部長から新たに事務局に就任した下川人材養成部長の紹介があり、下川人材養成部長が挨拶を行った。続いて、大場経営部長から新たに事務局に就任した高野管理課長の紹介があり、高野管理課長が挨拶を行った。続いて、大場経営部長から新たに事務局に就任した橋本事業課長の紹介があり、本日は欠席である旨報告があった。続いて、大場経営部長により配布資料の確認及び定款第35条に基づき小室理事長が議長となることが確認された。続いて、小室理事長が開会の宣言を行った。続いて、小室理事長が事務局に対して出席状況の報告を求めた。これを受け、大場経営部長から、現時点で理事12名中10名の出席があり、出席者のうち5名が会場での出席であり、5名がオンラインでの出席であることから、定款第36条第1項に規定された定足数7名を満たし本理事会は有効に成立することが報告された。また、監事2名中2名の出席があり、出席者のうち1名が会場での出席であり、1名がオンラインで出席している旨報告された。続いて、小室理事長により、定款37条の規定に基づき、小室理事長、浅野副理事長、岩崎監事、森田監事が議事録に署名、押印することが確認され、議事の審議に入った。なお、適時・的確な意見表明が互いにできる状態となっていることも確認した。

8 議事の経過及び結果について

(1) 第1号議案 「令和6年度事業報告及び決算について」

小室理事長からの指示により、西脇事務局長が第1号議案「令和6年度事業報告及び決算」について、議案及び説明資料を用いて説明を行った。

続いて、小室理事長からの依頼により、岩崎監事が監査結果を報告した。

続いて、各理事等に対し意見を募ったところ、森川理事から宣言促進フォローアップの計画と実績の乖離の要因について質問があった。これに対し、渡部福祉情報部長が、宣言できる法人は既に申請済みであることや、支援を受けた法人アンケートによると、「業務多忙により今年度は困難」という事業者が多かった旨回答し、令和7年度は個別相談や宣言申請書類作成支援などきめ細やかなフォローアップを行い、着実に申請に繋げられるよう取り組んでいく旨回答した。これに対し、森川理事から働きやすい職場であることを社会的にアピールすることが求められているため、積極的に環境整備を進めていくよう意見があった。続いて、各理事等に対し意見を募ったところ、田中理事から介護支援専門員研修事業の更新研修の計画数の算出根拠について質問があった。これに対し、下川人材養成部長が、計画数は過去の受講率を基に算出しており、令和5年度に実務研修が定員を超えて申込があったことから計画数を増加して実施したが、結果として実績数は例年とほぼ同程度である旨回答した。これに対し、田中理事から計画数は例年通りの数値であって、特に減少しているわけではないのか質問があった。これに対し、下川人材養成部長が、若干は減少している旨回答した。続いて、各理事等に対し意見を募ったところ、藤原理事から、財団では介護現場の生産性向上のための全体の戦略に関しての研修や支援は実施しているのか質問があった。これに対し、渡部福祉情報部長が、財団では働きやすい職場環境づくりと人材確保のための生産性向上セミナーを実施している旨回答した。これに対し、藤原理事から人材育成に関して、介護助手の導入及び普及啓発に向けて検討してほしい旨意見があった。続けて、藤原理事から東京都の補助事業の財源に関して質問があった。これに対し、渡部福祉情報部長が、介護現場改革促進等事業は国の基金及び補助事業を活用して、東京都から財団に補助がされていること、また次世代介護機器導入促進支援及びデジタル機器導入促進支援は財団が審査業務を受託しており、その財源は東京都が国の基金及び補助事業を活用して、東京都が補助している旨回答した。続いて、各理事等に対し意見を募ったところ、柏女理事から、こども

家庭センター人材育成研修事業の令和7年度事業計画について質問があった。これに対し、堀内事業推進担当部長が、実績を踏まえ計画数を増員しているほか、オンライン配信を実施し受講希望者を全員受講決定するなど、受講機会を確保していく旨回答した。続いて、各理事等に対し意見を募ったところ、小池理事から、障害者虐待防止・権利擁護研修事業の申込実績が少なかった要因について質問があった。これに対し、下川人材養成部長が、居宅系の事業所の参加が少なかったためである旨回答した。これに対し、小池理事が、小規模な居宅系やグループホームの職員が研修に参加しやすい仕組みができるとよい旨意見した。これに対し、西脇事務局長が、研修へは計画値を上回る3,300人以上の申込があったが、業務多忙により参加できなかったため実績が下回っている旨回答した。これに対し、小池理事が、小規模な施設も参加ができるよう研修方法を工夫し進めていくよう意見した。続いて、各理事等に対し意見を募ったところ、森川理事から、東京都介護職員宿舎借り上げ支援事業の災害時協定締結事業所の実績が少なかった要因について質問があった。これに対し、福井事業者支援部長が、同事業は事業開始当初から助成対象を拡大してきている旨説明し、東京都で積算している計画値が大きいため実績との間に乖離が生じているが、令和6年度は令和5年度に比べて実績は増えており、東京都へ各区市との協定締結の働きかけを依頼していく旨回答した。これに対し、森川理事が、実績を踏まえて計画値の見直しを行っていくよう意見した。これに対し、田中理事が、令和6年度より助成期間が4年から10年に拡充されたため、令和7年度は多くの法人が申請すると考えられる旨意見した。

続いて、議長が第1号議案について挙手による表決を求めたところ、出席理事全員の挙手が確認され、原案どおり承認された。

(2) 第2号議案 「令和7年度第1回定時評議員会の招集について」

小室理事長からの指示により、西脇事務局長が第2号議案「令和7年度第1回定時評議員会の招集」について、議案を用いて説明を行った。

続いて、各理事等に対し意見を募ったところ、発言はなかった。

議長が第2号議案について挙手による表決を求めたところ、出席理事全員の挙手が確認され、原案どおり承認された。

(3) 報告事項1 「職務執行状況について」

代表理事である小室理事長が報告事項1「職務執行状況」について報告を行った。

続いて、各理事等に対し意見を募ったところ、発言はなく、質疑を終了した。

(4) 報告事項2 「評議員選定委員会の選任結果について」

小室理事長からの指示により、西脇事務局長が報告事項2「評議員選定委員会の選任結果」について報告を行った。

続いて、各理事等に対し意見を募ったところ、発言はなく、質疑を終了した。

(5) 報告事項3 「新公益法人制度について」

小室理事長からの指示により、西脇事務局長が報告事項3「新公益法人制度」について報告を行った。

続いて、各理事等に対し意見を募ったところ、発言はなく、質疑を終了した。

議長は、本日予定していたすべての審議が終了したことを報告し、議事を終了した。

その後、議長が閉会を宣言して令和7年度第1回定時理事会を終了した。

本理事会の議決を証明するため、議事録署名人において署名押印する。

議事録署名人

(理事長)

小室 一人



議事録署名人

(副理事長)

浅野 直樹



議事録署名人

(監事)

若山 雄大



議事録署名人

(監事)

森田 能城

